

和歌山県の外来種リスト 両生類

No	目名	種名		カテゴリー	定着段階	外来生物法区分	国リスト区分	評価項目										由来		主な原産地	県内の分布	生息環境	備考	
		和名	学名					生態系被害				分布拡大		重要地域	社会被害		人間による拡散		国外					国内
								競争	交雑	捕食	変容	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入						
1	サンショウウオ目	オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i> (Temminck, 1836)		定着初期～限定分布			-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	○	兵庫県、岡山県ほか	古座川町	河川	特別天然記念物。和歌山県では、かつて伊都郡高野町大滝の谷川で生息していたが、1953年の大水害時にその谷川は埋没した。現在、平井川(古座川支流)で生息する本種は、1962年に兵庫県生野町から移入したものである。
2	カエル目	ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i> (Shaw, 1802)	重点啓発外来種	分布拡大～まん延	特定外来生物	重点対策外来種	◎	-	◎	-	○	○	○	-	-	-	-	○	-	北米	県内全市町村	池沼などの止水域	1918年にアメリカから移入して以来、野外で繁殖している。分布は全国に及ぶ。
3	カエル目	アフリカツメガエル	<i>Xenopus laevis</i> (Daudin, 1802)	重点啓発外来種	定着初期～限定分布		その他の総合対策外来種	◎	-	◎	-	○	○	◎	-	-	○	-	○	-	アフリカ中南部	田辺市、白浜町	池沼などの止水域	田辺市新庄町鳥ノ巣のため池(複数)に誰かが放流したと思われる。2007年に発見され、現在、白浜町を含め30カ所ほどの池で繁殖している。なお、本種の学名は、 <i>Xenopus laevis</i> (Daudin, 1802)としているが、約1800万年前に2つの種が異種交配と全ゲノム重複を起こして誕生した異質四倍体であることが知られている。